

2021年3月期 決算説明会資料

ダイコク電機株式会社
2021年5月27日(木)

東証1部・名証1部
証券コード 6430

2021年3月期 決算概要

前年同期比で減収ながら、予想を上回る最終利益を確保。

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2020/3期	2021/3期 (予想※)	2021/3期	前年同期比 (増減率)	予想比 (増減率)
売上高	32,922	23,200	23,228	△ 9,693 (△29.4%)	+ 28 (+0.1%)
売上総利益	12,040	9,350	9,388	△ 2,652 (△22.0%)	+ 38 (+0.4%)
販売管理費	10,608	8,950	8,897	△ 1,711 (△16.1%)	△ 53 (△0.5%)
営業利益	1,431	400	490	△ 941 (△65.7%)	+ 90 (+22.7%)
経常利益	1,674	700	986	△ 688 (△41.1%)	+ 286 (+40.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,061	500	612	△ 448 (△42.3%)	+ 112 (+22.5%)

※2021/3/22に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示

コロナ禍の影響で、情報システム・制御システム両事業ともに前年同期比で減収

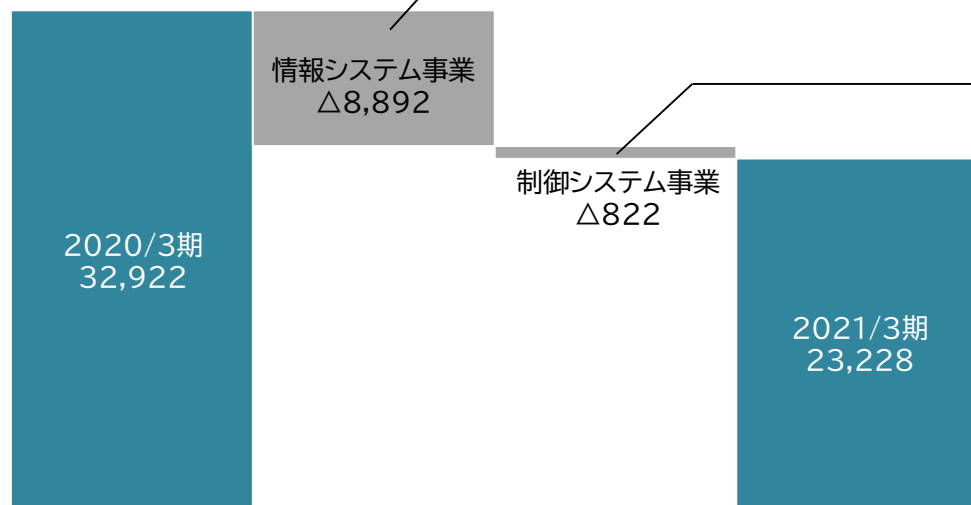
情報システム事業

売上高174億62百万円 →前年同期比 △88億92百万円 (△33.7%)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、パチンコホール経営企業の設備投資計画は見直され、新店や改装工事の多くは延期または中止となる厳しい市場環境となり、当事業における主要製品の販売は前年同期を大きく下回った。

ただし、Web展示会&セミナーでの提案により、遊タイム機対応「REVOLA」「IL-X3」の販売が年末以降、順調に推移。

単位:百万円
(百万円未満切捨)



制御システム事業

売上高57億75百万円
→前年同期比 △8億22百万円 (△12.5%)

パチンコホールの稼動状況の回復が鈍化しており、各遊技機メーカーの新作タイトル販売は延期され、市場全体の遊技機販売台数は大きく減少。

当事業における部品販売は前年同期を上回ったが、表示ユニット、制御ユニット販売は前年同期を下回った。

(注)セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

両事業ともに前年同期比で減益ながら、全社的な経費の見直しが収益を下支え

情報システム事業

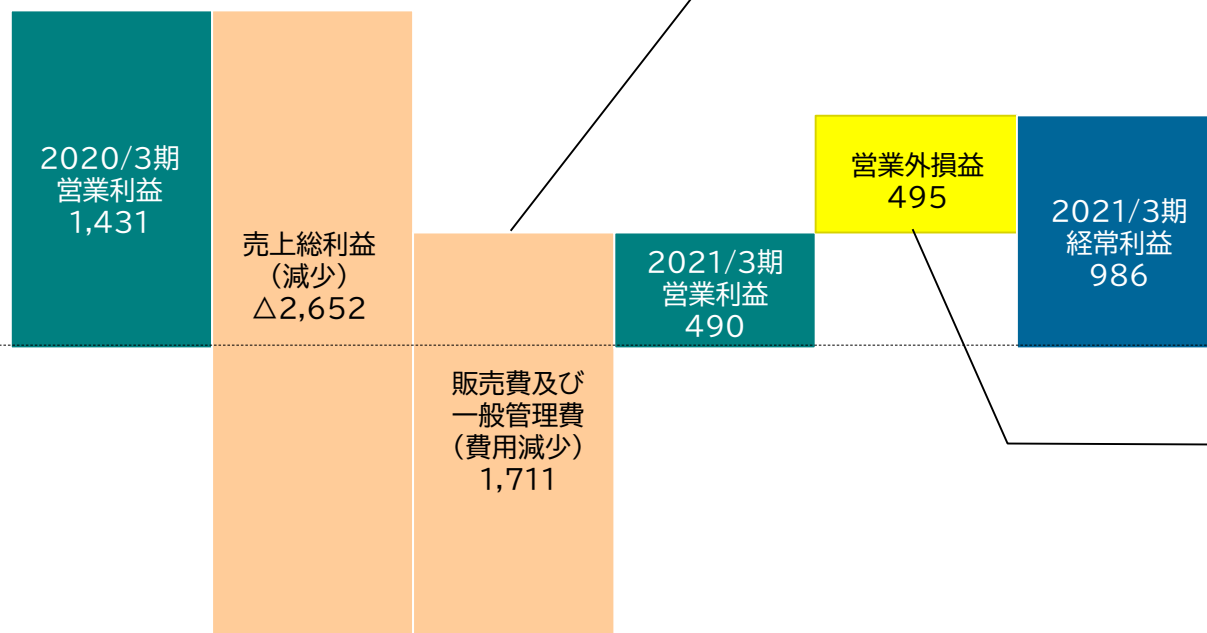
セグメント利益 19億39百万円 →前年同期比 Δ 11億64百万円 (Δ 37.5%)

制御システム事業

セグメント損失 15百万円 →前年同期比 Δ 93百万円 (前年同期はセグメント利益78百万円)

※ 全社経費 14億33百万円 →前年同期比 Δ 3億17百万円 (Δ 18.1%)

単位:百万円
(百万円未満切捨)



■販売費及び一般管理費

→前年同期比 Δ 17億11百万円

【主な項目 (単位:百万円)】

研究開発費	Δ 350
人件費	Δ 280
出張旅費	Δ 150
内製化	Δ 100
展示会(Web化)	Δ 70

■営業外損益

【主な項目 (単位:百万円)】

雇用調整助成金	260
受取分配金	118
不動産賃貸料	84

D/Eレシオ(有利子負債÷自己資本)は0.10と、十分な健全性を確保

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2020/3期	2021/3期	前年同期末比
流動資産	26,247	25,427	△ 819
固定資産	16,455	15,657	△ 798
資産合計	42,702	41,084	△ 1,617
流動負債	11,148	9,519	△ 1,629
固定負債	1,147	903	△ 244
負債合計	12,296	10,422	△ 1,873
純資産合計	30,406	30,662	+ 255
負債純資産合計	42,702	41,084	△ 1,617
有利子負債	3,300	3,000	△ 300
自己資本比率	71.2%	74.6%	+ 3.4%
D/Eレシオ	0.11	0.10	△ 0.01

■資産

流動資産は、売掛金等の売上債権が大幅に減少したことにより、前年同期末に比べ8億19百万円減少。

固定資産は、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であることから、大きな設備投資を自粛。投資額よりも減価償却費の計上額が上回ったことなどから、前年同期末に比べ7億98百万円減少。

■負債

業務改革や外注費の見直しなどさまざまなコスト削減に努力したことにより、未払金などが減少。また、減益に伴い未払法人税等も減少し、前年同期末に比べ18億73百万円減少。

■純資産

中間配当金の支払いがあったが、減益ながらも親会社株主に帰属する当期純利益を計上することができたことにより、前年同期末に比べ2億55百万円増加。

■自己資本比率

前年同期末に比べ3.4ポイントの上昇。

フリー・キャッシュ・フローはプラスを確保

単位:百万円	2020/3期	2021/3期 第2四半期	2021/3期
営業キャッシュ・フロー	5,006	844	3,396
投資キャッシュ・フロー	△1,688	△818	△2,242
財務キャッシュ・フロー	△591	△443	△891
現金及び現金同等物	15,478	15,060	15,739
フリー・キャッシュ・フロー	3,318	26	1,154

現金及び現金同等物の期末残高
(2020年3月末)

15,478

営業キャッシュ・フロー 3,396

税金等調整前純利益

977

減価償却費

+1,967

売上債権の増加額

+1,457

仕入債務の増加額

△229

営業CFその他

△776

投資キャッシュ・フロー(投資有価証券△1,000 等)

△2,242

財務キャッシュ・フロー(長期借入金△300 等)

△891

現金及び現金同等物の期末残高
(2021年3月末)

15,739

2022年3月期 連結業績見通し

新型コロナや半導体不足で厳しい環境だが、下期より設備投資は回復基調へ

■ 上 期

- ・新型コロナウイルス感染症が長期化し、withコロナ対策が必須
- ・パチンコホールの稼動は、コロナ前の80%で推移
- ・パチスロからパチンコへ、営業の主軸がシフト

■ 下 期

- ・新型コロナワクチンの普及や感染対策強化により、感染不安が軽減
- ・世界的な半導体不足が、遊技機市場にも影響
- ・旧規則機から新規則機への入替が進み、遊技機市場は活性化
- ・店舗数は減少するが、優良物件M&Aで市場活性化のチャンス
- ・パチンコホールの設備投資は回復基調へ

状況の変化に臨機応変に対応しつつ、将来を見据えた取組みを実施

■ 短期戦略

情報システム事業	・AIホールコンピュータ「X(カイ)」の普及 ・商圈分析サービス「Market-SIS」の普及 ・新たなMIRAIGATEサービスの投入
制御システム事業	・パチスロ自社筐体の販売により、事業領域を拡大 ・業務効率の向上により、ソフト開発受託案件の収益力を強化

■ 中期戦略

情報システム事業	・設備機器販売により、パチンコホール運営の効率化・省力化を支援 ・サービス販売により、パチンコファンに喜ばれる店舗運営を支援
制御システム事業	・ファンに喜ばれる、次世代遊技機に向けた取組みを推進 ・遊技機のハードとソフト技術を活用し、事業領域を拡大
経営企画室 研究開発室	・中長期の市場環境を先読みし、DXを推進、新規事業を検討、新技術の基礎研究を推進

構造改革を推し進め、より強固な利益体質をめざす

- **事業構造の見直し**

組織体制を再編し、市場環境の変化に対応する

- **改革を推進する体制を強化**

ガバナンス・経営管理能力を強化し、構造改革を支える

- **合理化によるコスト削減**

販管費などコストを削減し、財務体質を強化する

2022年3月期 連結業績予想

下期よりパチンコホールの設備投資は回復すると想定

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2021/3期		2022/3期 予想		前年同期比
	上期	通期	上期	通期	
売上高	11,060	23,228	12,000	26,000	+ 2,771
売上総利益	4,332	9,388	4,850	10,400	+ 1,011
販売管理費	4,556	8,897	4,650	9,550	+ 652
営業利益	△ 224	490	200	850	+ 359
経常利益	△ 18	986	270	1,000	+ 13
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 48	612	175	650	+ 37

研究開発費	426	819	370	900	+ 81
減価償却費	994	1,967	910	1,930	△ 37
設備投資	63	250	270	520	+ 270
ソフトウェア	300	800	340	1,130	+ 330

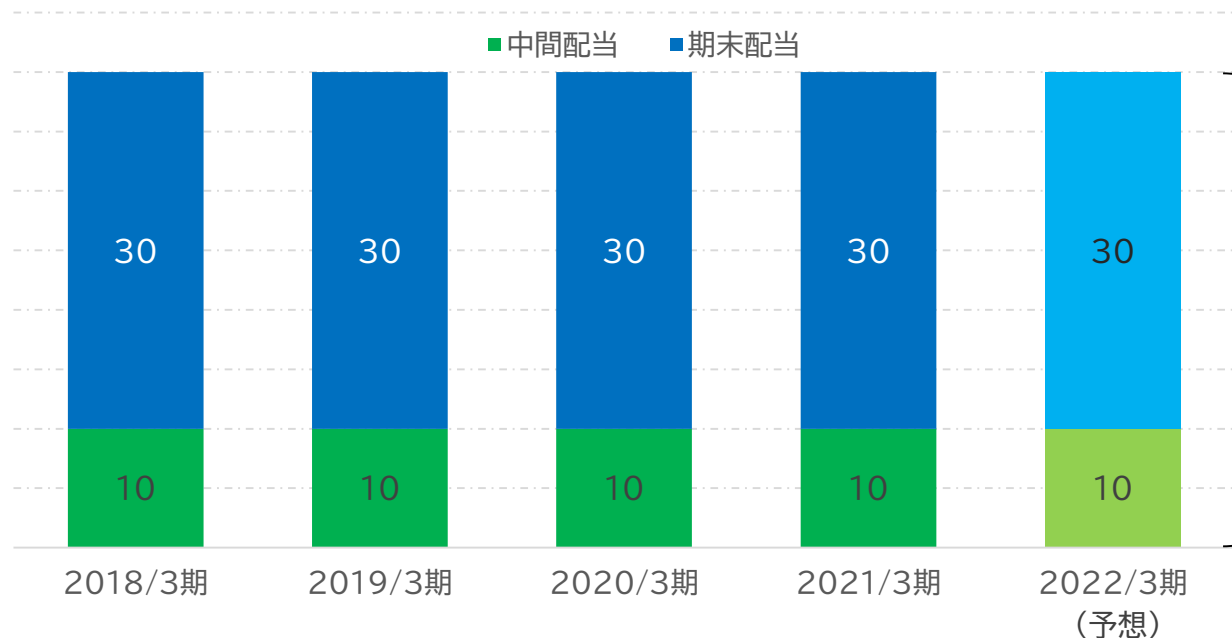
2022年3月期 セグメント別業績予想

両事業ともに増収だが、情報システム事業は積極的投資により減益

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2021/3期		2022/3期 予想		前年同期比
		上期	通期	上期	通期	
	情報システム事業	8,206	17,462	9,000	19,500	+ 2,037
	制御システム事業	2,858	5,775	3,000	6,500	+ 724
	セグメント売上高	11,064	23,238	12,000	26,000	+ 2,761
	情報システム事業	540	1,939	900	1,850	△ 89
	制御システム事業	△ 5	△ 15	100	600	+ 615
	セグメント利益	535	1,924	1,000	2,450	+ 525
	全社経費	△ 759	△ 1,433	△ 800	△ 1,600	△ 166
	連結売上高	11,060	23,228	12,000	26,000	+ 2,771
	連結営業利益	△ 224	490	200	850	+ 359

(注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

安定配当を基本方針に、中間配当10円、期末配当30円、通期合計40円予想



安定配当 40円

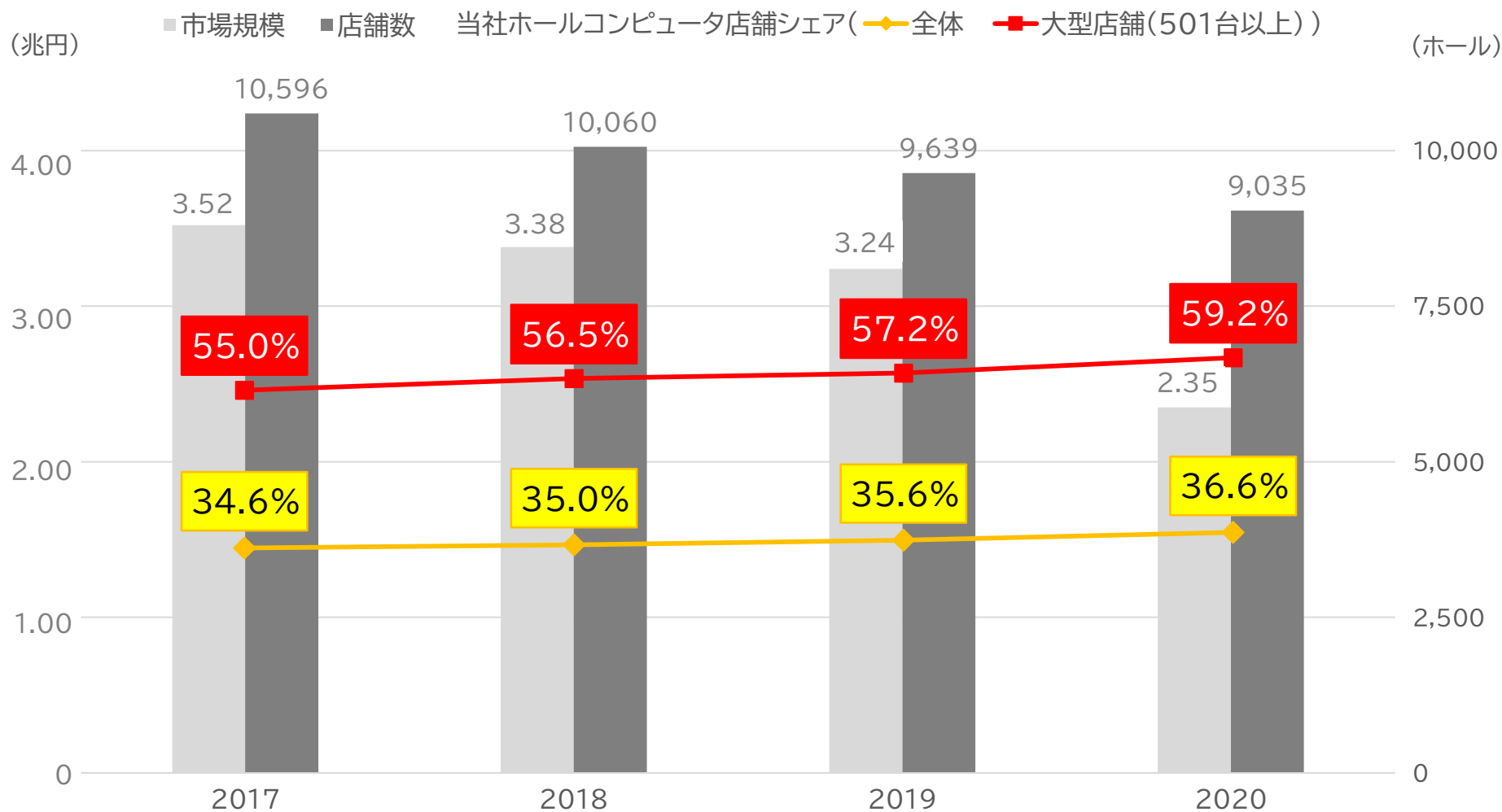
■ 中間配当10円

■ 期末配当30円

	中間配当	期末配当	合計	配当性向(%)
2018/3期	10	30	40	75.3%
2019/3期	10	30	40	46.8%
2020/3期	10	30	40	55.7%
2021/3期	10	30	40	96.5%
2022/3期(予想)	10	30	40	95.4%

ご参考資料

市場は緩やかに縮小するも、当社のシェアは大型店舗を中心に業界首位

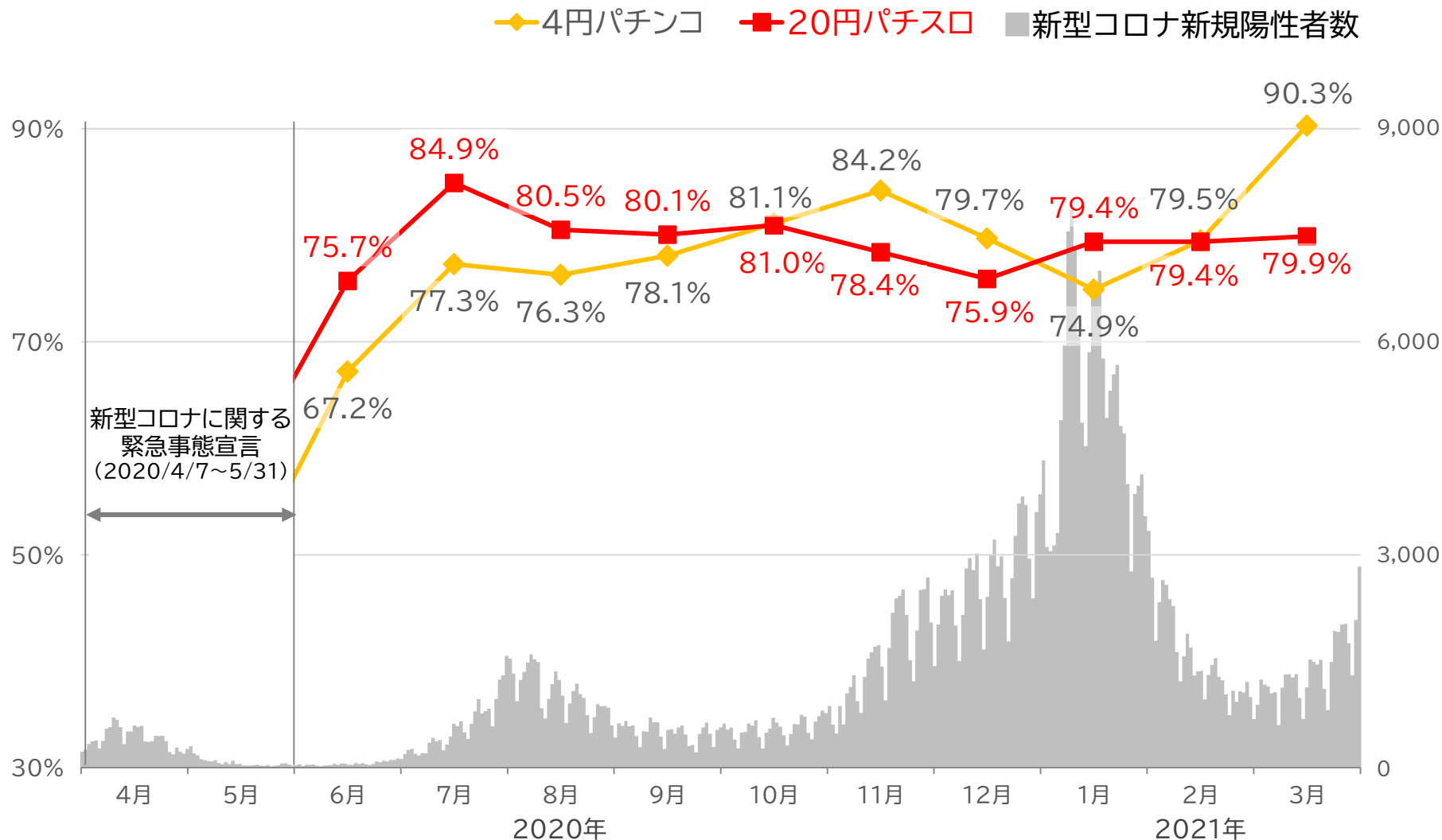


※市場規模(総粗利)はDK-SISの実データからの推測値

※店舗数は警察庁の「風俗営業等の現状と風俗関係事犯の取締り状況等について」データより

稼動（アウト） 前年同月比の月次推移

コロナ禍の影響で期初は落ち込むも、下期は前年同月比80%の水準で推移



※稼動(アウト)はDK-SISの実データ

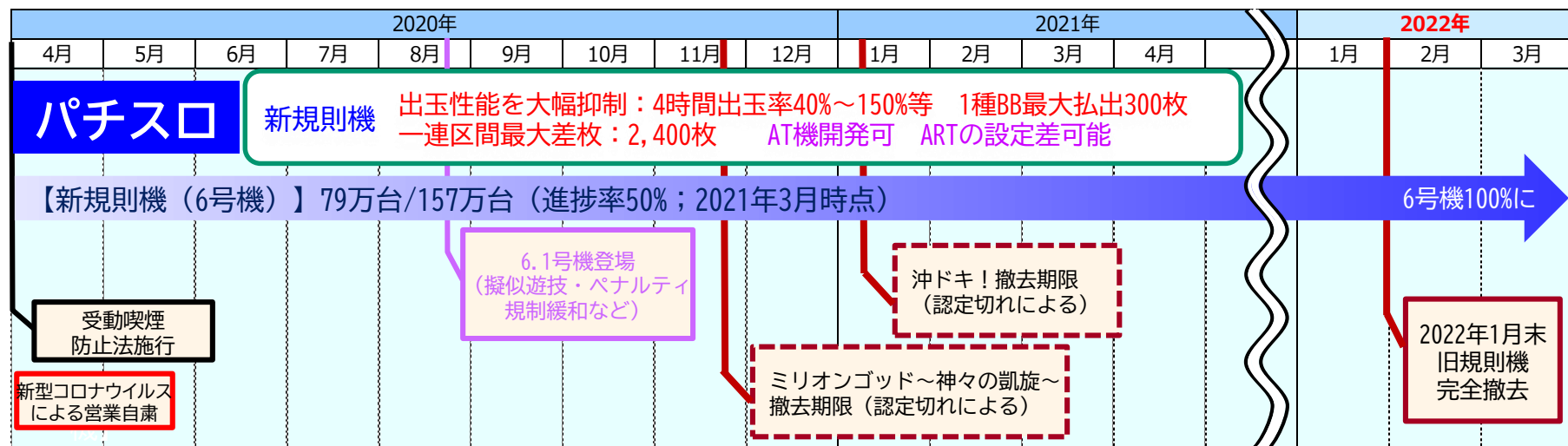
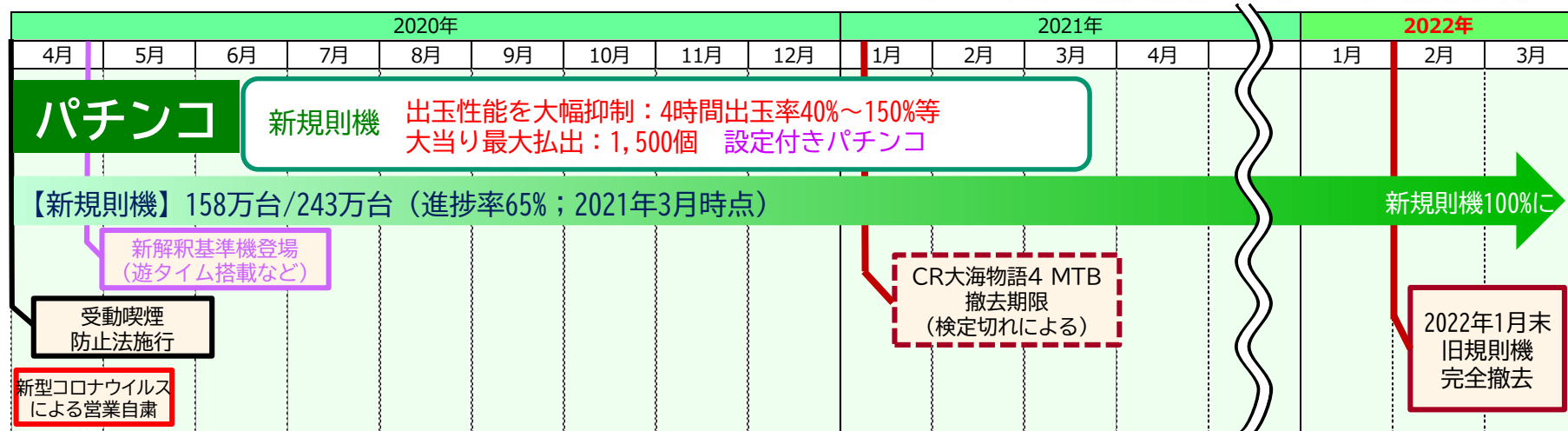
※2021年3月の比較対象となる2020年3月は、コロナ禍の影響あり

旧規則機の撤去スケジュール

経過措置が1年延長(～2022年1月末)され、21世紀会決議により段階的に撤去

赤字：規則・内規等の強化

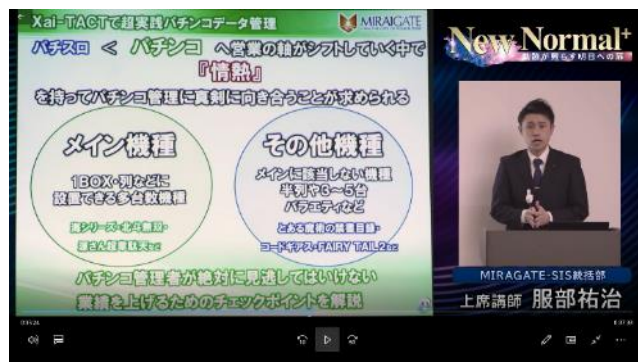
紫字：規則・内規等の緩和



「X(カイ)」 「Market-SIS」の普及、パチスロ受託開発の推進に注力

情報システム 事業	・遊タイム機のデータ管理に役立つAIホールコンピュータ「X(カイ)」のシステムアップ導入件数は、前年同期比90%まで進捗。 ・普及フェーズであるMarket-SISは、着実にシェアを拡大。 ・遊タイム機情報をファンに分かりやすく伝える情報公開端末「REVOLA」「IL-X3」の販売は、年末商戦以降、順調に推移。 ・業界初となるオンライン形式の「MIRAIGATE2020 WEB展示会&セミナー」を開催。 ・「DK-SIS白書2020年版(2019年データ)」を発刊。約147万台の営業データを元に年間の分析結果を掲載。業界関係者が将来を見通す上での指標として活用。
制御システム 事業	・パチスロ遊技機の受託開発や販売製品の事業領域を拡大する活動を推進。 ・表示ユニットの低コスト化に向けた技術及び部品の調査研究を実施。 ・遊技機メーカーにおけるパチンコ新内規(遊タイム)遊技機の開発本格化に合わせ、リソースの再配分や工程の見直し等を実施。

市場の新しい動きへの対応について、市場関係者に提案



- ・2020年9月に、WEB展示会&セミナーを開催（参加者は5,508名 ※例年の2倍規模）
- ・2021年3月に、好評であった9月に続き、2回目のWEBセミナーを開催（参加者は4,370名）
- ・「①新内規(遊タイム)」 「②withコロナ」 「③省人・省力化」をテーマに、業界のNew Normalを提案
- ・DK-SISセミナーでは、コロナ禍における市場分析、今後の業績回復手法を提案

ファンが安心して来店・遊技できる製品・サービスを提案

■ 呼出しランプに、新型コロナウイルス感染予防を支援する機能を追加

- 「清掃・消毒済」の台をファンに告知し、ファンは安心して遊技（図1）
- 清掃・消毒作業を行うパチンコホール従業員の作業負担を軽減（図2）

図1



図2



当社の事業展開 <情報システム事業>

パチンコホール、パチンコファン向けに、各種製品サービスを提供

ホールコンピュータ



店舗に設置された遊技台のデータを集計し、ホール経営に役立つ高度な分析を提供。

台・景品・顧客・情報公開、セキュリティ等、店舗運営に必要なシステムを統合管理。

最新モデル「X(カイ)」では、全国の当社ホールコンピュータから当社MIRAIGATEサーバーに送信されるビッグデータを活用。

AI自動分析(オートコンサル)をはじめ、AIセキュリティ、高精度シミュレーション、禁煙化対応 新型コロナウイルス対応など、時流に合わせた運用が可能。



ファン向けWEB・アプリサービス



パチロボ(無料アプリ)では、全国のパチンコホールデータをファンが無料閲覧可能。



サイトセブン(有料サイト)では、パチロボより詳細なデータをファンが閲覧可能。

景品管理

獲得した出玉を景品交換するシステム。最新POS「SP-01」では、店舗に合わせた設置や、15.6インチ大型タッチパネル液晶でのキーボードレス運用が可能。



呼出しランプ(大型液晶)



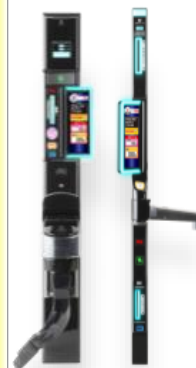
BiGMO PREMIUM II



REVOLA

大当たりやスタートなど遊技台のデータ表示、機種に合わせた映像・光・音等による演出、ファンによるスタッフの呼出しなどを行う。

CRユニット



遊技するための玉やメダルを貸出するために、遊技台毎に設置される端末。

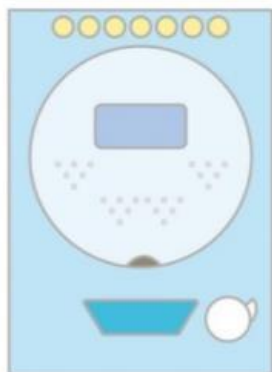
最新モデル「VEGASIAⅢ」では大型タッチ液晶で見やすく、分かりやすい操作を実現。

「X」との連動で、ホール内での高度なセキュリティや分析を提供。

遊技機メーカー向けソフトウェア/ハードウェアの開発・提供

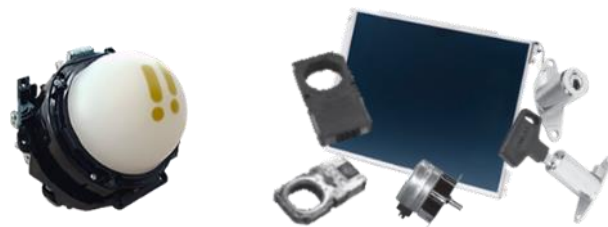
遊技機のソフトウェア/ハードウェアの開発・提供

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の企画やソフトウェア開発、ハードウェアを提供。



開発に関する取組み(例)

- DK-SISのデータを活用
- 工程管理の品質向上
- 筐体や機構部品なども含めた企画提案



企画提案力の強化、工程管理品質の向上等を通じ、遊技機メーカーへ提案可能な領域の拡大や付加価値の向上に取り組んでいます。

製品、事業所、業界団体を通し、環境改善への取組みを推進

●製品

- ・ホールコンピュータ⇔台毎端末⇔喫煙ブースを連動させ、禁煙・分煙ホール環境を構築
- ・パチンコホール設備修理(メンテリペア)範囲の細分化による廃棄物抑制 CO2削減
- ・センドバック修理品の輸送にリサイクル素材を採用 CO2削減



●事業所

- ・省エネ設計の本社ビルは、総合環境性能評価で最高評価のSランクを取得 CO2削減
- ・省エネ対応として、屋根の遮熱塗料、LED照明を採用(坂下・春日井事業所) CO2削減
- ・プラスチックパレットや段ボール廃棄時に、リサイクル処理を実施 CO2削減



●業界団体

- ・日遊協(※)社会貢献・環境対策委員企業として「全国クリーンデー」を企画・推進
毎年約7~8,000人の業界関係者とパチンコファンが全国約2,000箇所を地域清掃



※日遊協とは(一社)日本遊技関連事業協会

新型コロナ対策、社会貢献活動、女性が活躍できる職場環境づくりに注力

●製品

- ・呼出しランプの新型コロナ対策機能で、ファンの安心遊技、感染予防を推進
- ・Market-SISでスタッフの現地調査を減らし、新型コロナ感染リスクを軽減



- ・AIホールコンピュータ「X」活用による、店舗運営の効率化
- ・台毎計数機活用による、玉箱管理の労働負荷軽減
- ・スマートウォッチやWeb会員登録による、店舗運営の省力化



●社会貢献

- ・名古屋市が事務局を務める「名古屋少年少女発明クラブ」に協力し、小学生に向けたロボットプログラミング体験教室を本社事業所にて開催
⇒2020年度から小学校でプログラミング教育が必須となったこともあり、社会で求められているプログラミング教室、人材育成に貢献



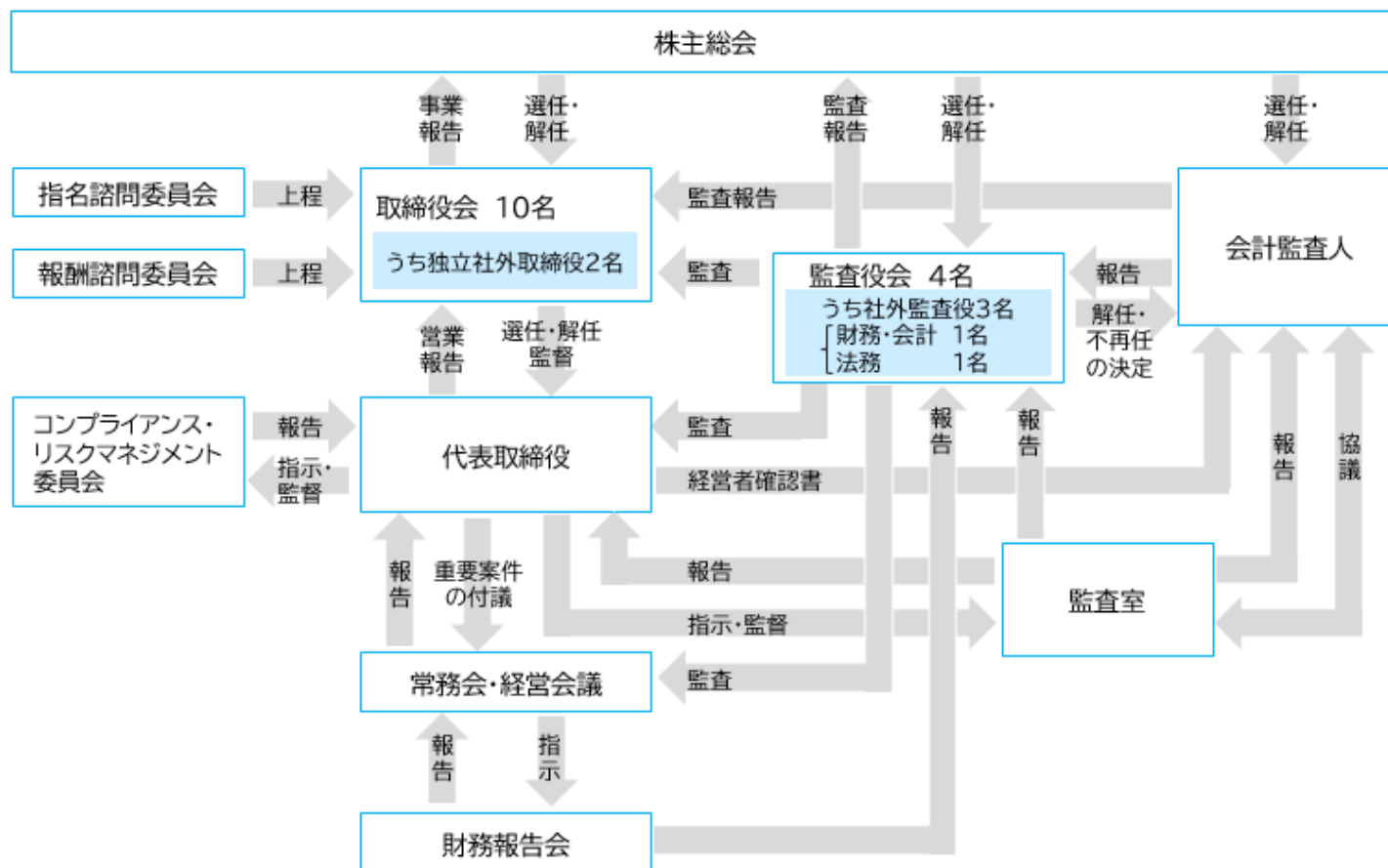
●事業所・業務

- ・マスクをはじめ様々な新型コロナ対策品を全社に配布し、テレワーク勤務を推進・継続
- ・結婚や育児を支援する「マイライフ勤務制度」「スライド勤務制度」
- ・「半休・時間休制度」「誕生日休暇制度」、「結婚記念日休暇制度」
⇒女性社員の平均勤続年数は18.9年(2021年3月末)、産後復職率は94%(直近10年間)



ESGへの取組み :G (ガバナンス)

企業の透明性やコーポレート・ガバナンスが有効に機能する体制を構築



※「コンプライアンス・リスクマネジメント委員会」は、全社員が参加する「CPRサロン(小集団活動)」を年2回開催

※「財務報告会」を四半期毎に開催し、徹底した内部統制を実施

※「経営会議」を週毎に開催し、様々な経営課題について積極的に議論

注 記

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおり
ます。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されて
おります。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうる
ため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR担当

TEL 052-581-7111

E-MAIL xsomu@daikoku.co.jp